

<2012—2013年度>

第1回
キャビネット会議
提出案件

2012年7月23日（月）

東京プリンスホテル 2階「プロビデンス」

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

第 1 回 キヤビネット会議提出案件

役職名	Y E 委 員 長
L 名	青 木 秀 茂

案件 1、2012～2013年度YE協賛金拠出のお願い

(説明)

今期のYE委員会におきましては、国際プログラムとして長年の歴史と実績をもつYEプログラムを時代の変遷も考慮しながら推進してまいります。

ホームステイによる交換事業により、青少年は海外での生活体験を通して成長し、また異文化交流を行うことにより各国間の相互理解を深めることができます。

YE委員会としては、21世紀を担う青少年たる派遣生、来日生達に、YEプログラムの持つ本来の意義をしっかりと理解させ、国際親善大使としての役割を果たすよう指導してまいります。

YE事業にご理解を賜り、YEプログラムを推敲するための資金として、

各クラブ 1メンバー ¥1,000円

のご協賛金の拠出をして頂けますよう、よろしくお願い致します。

参考資料として、年間活動予定、予算案を添付致します。

今期で第9回となります「青少年英語スピーチコンテスト」にも協賛金を使用させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

2012～2013年度 YE委員会 活動予定

2012年	8月	第1回YEセミナー
	9月	第49期YESクラブ結成 第2回YEセミナー
	10月	冬期、春期、夏期派遣生及び来日生ホスト家庭の依頼、 第3回YEセミナー
	11月	冬期来日生ホスト家庭依頼
	12月	冬期派遣生、来日生送迎 ウェルカムパーティ、 春夏派遣生選考テスト
2013年	1月	冬期派遣生、来日生帰国送迎
	2月	夏期派遣生オリエンテーション開始（6月まで）、 来日生ホスト家庭依頼
	3～4月	春期派遣、来日生送迎 ウェルカムパーティ
	5～6月	夏期派遣のための各種準備 来日生ホスト家庭依頼
	7～8月	夏期派遣生 来日生送迎 サマーキャンプの開催 派遣、 来日生送迎
	9月	帰国報告会

2012～2013年度 YE委員会 予算（案）

〈収入の部〉

各クラブメンバー1000円×4900名	4,900,000 円
総計	<u>4,900,000 円</u>

〈支出の部〉

① 派遣生関係費	
派遣生(制服・グッズ等)	50,000 円
オリエンテーション関係費	350,000 円
壮行会費	200,000 円
帰国報告会	<u>150,000 円</u>
	750,000 円
② 来日生関係費	
冬期・春期ウェルカムパーティー	100,000 円
夏期ユースキャンプ(A地区担当)	750,000 円
YE来日生スクール	550,000 円
ホスト家庭オリエンテーション	<u>50,000 円</u>
	1,450,000 円
③ その他	
YEセミナー費	300,000 円
YES総会費	100,000 円
MD共通経費	250,000 円
YEレポート	650,000 円
予備費	<u>900,000 円</u>
	2,200,000 円
④ 英語スピーチコンテスト	<u>500,000 円</u>
	500,000 円

総計 4,900,000 円

第 1 回キャビネット会議提出案件

役職名 330-A地区LCIF 委員会委員長

L名 小堀 光由

案件 1 ・ライオンズクラブ国際財団（LCIF）へメンバー一人 20 \$ 献金のご協力依頼
について

(説明)

LCIFは「フィナンシャル・タイムズ」が国連グローバルコンパクトと協力して実施した調査の中で、プログラムの遂行及び適用性、説明責任の履行、情報伝達、企業支援の理解に関して高い評価を獲得し第 1 位に選ばれ、世界最高のNGO団体として評価されました。

LCIFの人道主義的奉仕活動、災害援助、職業技術指導計画の財源は、ライオンズクラブメンバーの皆様お一人おひとりの献金により賄われております。

今迄に日本ライオンズへ交付された援助資金は、災害、地震、台風、職業技術訓練所建設、その他数多く実施されております。

「3. 11 東日本大震災」に関しましても緊急援助交付金として 15 億円が被災地区のライオンズクラブに交付されました。

その後の東日本大震災被災地区から申請された復興支援事業 8 件も LCIF の交付金を受け立ち上がりました。詳細はライオン誌「追跡・東日本大震災」に随時掲載されております。

一人の人では少しの事しか出来ないけれど、力を合わせれば多くの事が出来又社会的にも高い評価を得る事が出来ます。

ライオンズクラブメンバー各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第 1 回 キャビネット会 議 提 出 案 件

役職名 オリンピック・パラリンピック招致支援委員会

L 名 委員長 L 池 田 和 司

案件 1、下記の宣言を提案いたします。

(説明)

記

「2020年オリンピック・パラリンピック日本招致を成功させよう」

理由 オリンピック・パラリンピックの日本開催は今の日本にとって、閉塞感からの脱出又青少年に夢と希望と可能性を与えるために、さらには障害者支援の面からも必要不可欠であります。

また実現によって得られる 3 兆円の経済的効果・15 万 2 千の雇用の確保・東北地方の復興の加速化に大きく役立つことは間違いございません。
今こそ我ライオンズクラブは立ち上がり、マドリード（スペイン）、イスタンブール（トルコ）に負けない支援の大合唱を起こそうではありませんか。

案件 2、招致に向けて全面支援のお願い

2020 年オリンピック・パラリンピックの日本招致を成功させる為に

330 複合地区 オリンピック・パラリンピック招致支援委員会と連携して支援活動を進めてまいりますので、RC・ZCの皆様へ全面支援のご協力をお願いいたします。

来る 10 月 8 日ライオンズ奉仕デー（体育の日）に都庁前広場において、「オリンピック・パラリンピック招致支援の集い」を開催すると共にライオンズクラブによる統一行動を行なう事を希望しております。

以上